昭和二十四年七月――九月
日本銀行勘定移動概況

はしがき

従来調査時報に掲載して来た「日本銀行勘定による日本銀行券増減原因分析」は日本銀行券が日本銀行の如何なる勘定を通じて増減し、その内政府に対する信用の供与乃至回収により幾何、民間に対する信用の供与乃至回収により幾何増減したかを分析し、更にその原因に付ても出来る限りの究明を加えたものであるが、右の分析は本来日本銀行券が膨脹の一途を辿つていた際その原因を究明することに主眼が置かれたものである。然るに最近経済情勢の激変により日本銀行券が恒常的増加をみるが如きことは無くなり、その増加も主として季節的要因に基くこととなつた。そのため従来の如き分析はその意味を半減することとなつたので、本号より日本銀行勘定の移動状況及び之が如何なる原因に基いているかを究明することに改めることとした。従つて日本銀行券が対政府関係、対民間関係に於て夫々幾何の増減を見たかは触れないこととし、唯主要勘定の移動を通じ一般市中の金融情勢にも言及することとする。（黒崎）

一、七　月　中

本月中の主要勘定の移動を先づ資産の面より見ると、貸出金が五、八二七百万円の減少を示しているが、之は貸付金の減少六、〇八八百万円に基くものであり、之を金融機関別にみると、農林中央金庫が一、三八二百万円を増加したにも拘らず、十一大銀行が六、〇三五百万円を減少している。而してかかる貸出金減少の原因が主として内地指定預金の預入にあつたことは其他勘定の預ケ金が一〇、〇〇〇百万円増加していることによつて知られる。次に国債其他証券は六、五一二百万円を増加しているが、右の内国債は復興金融債券償還のための五分半利国庫債券の受入一、五〇二百万円、設備資金供給等の為めにする生命保険会社、信託銀行、無尽会社、信用組合よりの買入により二、三六九百万円を増加し、又食糧証券は引受が九、〇〇〇百万円、預金部の食料品、油糧両公団に対する貸付（六、七七二百万円）資金調達の為めにする同部よりの買入が四、七五〇百万円に上り、償還及び復興金融金庫並に閉鎖機関への売却にも拘らず結局六、三〇八百万円を増加し、復興金融債券のみは設備資金供給等の為めにする市中銀行等よりの買入超過二、〇六三百万円に拘らず償還が四、〇七八百万円に上つた為め二、一六五百万円を減少した。

次に負債面に於ては、先づ発行銀行券は上旬七、七九五百万円、中旬六、九四五百万円を収縮し、下旬九、六〇五百万円の増発を示したが、月中五、一三五百万円の減少とほぼ前月同様の収縮振りを示した。政府預金は当座預金三、二五三百万円、内地指定預金一〇、〇〇〇百万円、援助資金預金三、〇〇九百万円夫々増加した結果一六、四二五百万円の増加を示した。この内当座預金に於ては租税収入、棉花油糧等援助物資払下代金収入の好調を反映して民間関係に於て六、一〇〇百万円を増加し、又本行関係に於ては前述せる食糧証券の引受超過及び預金部よりの食糧証券買入により一〇、三一九百万円を増加したが、他方指定預金との組替一〇、〇〇一百万円及び本月より新に開設された援助資金預金との組替により三、〇〇九百万円夫々減少した。援助資金預金は第一回分として一〇、〇〇〇百万円が繰入れられ、国有鉄道へ五、六一九百万円、電気通信事業会計へ一、三七二百万円夫々投融資された。尚其他勘定が五、六三一百万円を増加しているが、之は主として国庫送金為替の増加によるものである。

かくて日本銀行主要勘定の移動を通じて見た一般市中の金融情勢は国債其他証券の増加を上廻る政府預金の増加によつて示される如く財政資金の引揚が顕著であり、一方市中銀行の貸出増加は三一、五〇八百万円とその預金増加二三、七五四百万円を超過し、その不足尻を政府指定預金の預入、日本銀行に対する復興金融債券の売却等により調達したが、尚且つ日本銀行券の収縮を免れなかつた。

主要勘定移動状況

（単位　百万円）

資産	増減	備考	増減	内訳	増減
政府貸上金	〇				
貸出金	(−) 五、八二七	割引手形	(+) 二六一	十大銀行	(−) 二二九
				その他	(+) 四九〇
		貸付金	(−) 六、〇八八	特殊銀行	(−) 五七三
				十一大銀行	(−) 六、〇三五
				其の他銀行	(−) 九一五
				農林中央金庫	(+) 一、三八二
				その他	(+) 五三
国債其他証券	(+) 六、五一二	国債	(+) 二、三六九	復興金融債券償還に伴う五分半利国庫債券受入	一、五〇二
				生命保険会社より買入超	六二五
				信託銀行より買入	一一四
				無尽会社信用組合より買入	八〇
				国民金融公庫より買入	二四二
				その他一般市中へ売却超	一九四
		食糧証券	(+) 六、三〇八	引受	九、〇〇〇
				償還	三、〇三七
				預金部より買入超	四、七五〇
				復興金融金庫へ売却超	二、〇三〇
				閉鎖機関へ売却超	二、一〇七
				市中銀行等へ売却超	二六八
		復興金融債券	(−) 二、一六五	償還	四、〇七八
				国民金融公庫へ売却超	一五〇
				市中銀行等より買入超	二、〇六三
代理店勘定	(+) 七二三				
其他	(+) 一三、一五八	預ケ金	(+) 一〇、〇〇〇	十一大銀行	四、一〇〇
				特殊銀行	一、一〇〇
				その他	四、三〇〇
				農林中央金庫	四〇〇
				その他	一〇〇
		其他	(+) 三、一五八		
計	(+) 一四、五六六				

負債	増減	備考	増減
発行銀行券	(−) 五、一三五	上旬	(−) 七、七九五
		中旬	(−) 六、九四五
		下旬	(+) 九、六〇五

政府預金	(+)	一六、四二五
其他預金	(−)	二、三五五
其他	(+)	五、六三一
計	(+)	一四、五六六

二、八月中

本月中の主要勘定の移動を先づ資産面より見ると、政府貸上金が貿易資金特別会計及び国有鉄道よりの返済により三、〇〇〇百万円減少したが、民間に対する貸出金は一六、〇四八百万円の激増を示している。之は主として貸付金増加一五、八九七百万円に基くものであるが、右の内農林中央金庫の六、九一三百万円を筆頭として特殊銀行二、六四四百万円、十一大銀行二、七四九百万円、其他銀行三、四六三百万円と各金融機関共夫々大幅に増加している。農林中央金庫の著増は麦、馬鈴薯の供出が一服した為め食糧管理特別会計よりの前渡金が一〇、〇〇〇百万円に止つたのに対し、秋肥代金、生活資金等のための預金払戻資金の貸付が多額に上つたことに原因している。又銀行に於ける増加は全国銀行の貸出増加が二七、九六七百万円と指定預金を除く預金の増加一八、八七七百万円を大幅に上廻つた結果である。次に国債其他証券は二、六六九百万円を減少しているが、右の内国債は設備資金供給等の為めにする生命保険会社、信託銀行、無尽会社、信用組合よりの買入により八九七百万円増加した反面国債整理基金特別会計への売却により結局二八四百万円を増加し、又食糧証券は引受が七四、〇〇〇百万円、農林中央金庫より指定預金引揚四、六〇〇百万円に伴う買入が四、六八七

当座預金	(+)	三、二五三
本行関係	(+)	一〇、三一九
民間関係	(+)	六、一〇〇
援助資金預金との組替	(−)	三、〇〇九
指定預金との組替	(−)	一〇、〇〇一
その他預金との組替	(−)	一五六
繰入		一〇、〇〇〇
国有鉄道へ貸付		五、六一九
電気通信公債引受		一、三七二
内地指定預金	(+)	一〇、〇〇〇
援助資金預金	(+)	三、〇〇九
其の他預金	(+)	一六三
金融機関預金	(+)	三六〇
その他預金	(−)	一、六四一
内国為替決済金	(−)	一、〇七四

百万円あつたが、他方償還四〇、六二九百万円、預金部、復興金融金庫、閉鎖機関に対する売却超が夫々一二、四五〇百万円、二〇、七〇六百万円、八、六四四百万円に上つた為め三、六八一百万円を減少し、又復興金融債券は、前月に引続き設備資金供給等の為めにする市中銀行よりの買入が二、八二八百万円に上つた為め償還による減少二、二〇〇百万円を差引いても尚七二八百万円を増加した。

次に負債面に於ては先づ発行銀行券は上旬中旬盆関係資金の需要旺盛を反映して二、九三〇百万円を増発し、中旬六、七一五百万円を収縮したものの下旬に於て三、八七二百万円を増発し結局八七百万円の微増を示した。政府預金は当座預金一、五九三百万円、内地指定預金四、六〇六百万円夫々減少したが、援助資金預金一二、七四一百万円、其他預金一、二八六百万円夫々増加した結果、結局七、八二八百万円の増加を示した。而して当座預金に於ては一般会計が依然租税、専売益金の好調を反映し一二、二四六百万円、食糧管理特別会計が一四、八一九百万円夫々引揚超過を示したが、食糧証券の市中償還が二二、七二二百万円に上つた為め民間関係に於て九、〇五二百万円を減少し、又援助資金預金との組替により一二、七四二百万円を減少した。此の為め日本銀行関係に於て前述の如く主として食糧証券の引受超過により一六、八七八百万円、指定預金の引揚によ

り四、六〇七百万円を調達した。尚援助資金預金は第二回分として一八、五〇三百万円が繰入れられ、国有鉄道へ三、一六五百万円、電気通信事業会計へ二、五九七百万円夫々投融資された。尚其他勘定が三、九六三百万円減少したが、之は主として国庫送金為替の増加に基いている。

かくて日本銀行主要勘定の移動を通じて見た一般市中の金融情勢は、財政資金の引揚が依然顕著であり、食糧証券の大量市中償還にも拘らず結局日本銀行よりの信用供与を仰がねばならなかつたことは市中銀行の預金増加一八、二四二百万円に対し貸出増加は二七、九六七百万円とこれを上廻つたことによつても明かであるが、日本銀行券は漸く微増を示すに過ぎなかつた。

主要勘定移動状況

（単位　百万円）

資産	増減	備考			
政府貸上金	(−) 三、〇〇〇				
貸出金	(+) 一六、〇四八	割引手形	(+) 一五一	十一大銀行	(+) 一五三
				其他	(−) 二
		貸付金	(+) 一五、八九七	特殊銀行	(+) 二、六四四
				十一大銀行	(+) 二、七四九
				其他	(+) 三、四六三
				農林中央金庫	(+) 六、九一三
				其他	(+) 一二八
国債其他証券	(−) 二、六六九	国債	(+) 二八四	償還	一九
				国債整理基金特別会計へ売却	五九九
				生命保険会社より買入超	一四三
				信託銀行より買入	一七七
				無尽会社、信用組合より買入	五七七
				其他一般市中より買入	五
		食糧証券	(−) 三、六八一	引受	七四、〇〇〇
				償還	四〇、六二九
				預金部へ売却超	一二、四五〇
				復興金融金庫へ売却超	二〇、七〇六
				閉鎖機関へ売却超	八、六四四
				農林中央金庫より買入超	四、六八七
				市中銀行等より買入超	六一
		復興金融債券	(+) 七二八	償還	二、二〇〇
				国民金融公庫より買入超	一〇〇
				市中銀行より買入超	二、八二八
代理店勘定	(−) 二三二				
其他	(−) 七、七六九	預金	(−) 四、六〇〇（農林中央金庫より引揚）		
		其ノ他	(−) 三、一六九		
計	(+) 二、三七八				

負債	増減	備考
発行銀行券	(+) 八七	上旬 (+) 二、九三〇 中旬 (−) 六、七一五 下旬 (+) 三、八七二
政府預金	(+) 七、八二八	当座預金 (−) 一、五九三 （本行関係 (+) 一六、八七八 民間関係 (−) 九、〇五二 援助資金預金との組替 (−) 一二、七四二 指定預金との組替 (+) 四、六〇七 其他預金との組替 (−) 一、二八四） 内地指定預金 (−) 四、六〇六 援助資金預金 (+) 一二、七四一 （繰入 一八、五〇三 国有鉄道へ貸付 三、一六五 電気通信公債引受 二、五九七） 其他預金 (+) 一、二八六
其他預金	(−) 一、五七四	金融機関預金 (−) 四五五 其他預金 (−) 八四二 内国為替決済金 (−) 二七七
其他	(−) 三、九六三	
計	(+) 二、三七八	

三、九月中

本月中の主要勘定の移動を先づ資産面より見ると、割引手形が二、〇四九百万円、貸付金が八、四九五百万円夫々増加しているが、右の内銀行の増加は著しく、農林中央金庫のみは食糧管理特別会計よりの前渡金が順調であつた為め一、九二〇百万円を減少した。政府貸付金は国有鉄道に対する貸付金の返済により一、〇〇〇百万円を減少した。次に国債は二七、一一八百万円の大幅な減少を示したが、右の内長期国債のみは、八月を以て終了した市中銀行手持復興金融債券の買入に代わり、重要産業に対する長期資金供給を円滑ならしめる目的を以て新たに銀行及び生命保険会社所有国債の買入を実施することとなつた為め、農林中央金庫、無尽会社、信用組合等よりの買入を含め三、七八六百万円を著増した。又食糧証券は引受九、〇〇〇百万円に対し、償還一、一九五百万円の外預金部への売却超七、九七〇百万円、米国対日援助見返資金会計への売却二五、〇〇〇百万円、復興金融金庫への売却二、六七六百万円、閉鎖機関への売却超二、二三八百万円等大口の売却をみた為め三〇、九〇四百万円の激減を示した。次に債券は

全額復興金融債券であるが、之も六、七一三百万円の償還の外、農林中央金庫、国民金融公庫等に対し二、一四一百万円の売却をみた為め八、八五四百万円の減少を示した。最後に其他勘定は政府指定預金たる預ケ金の引揚六、六〇〇百万円により六、二七五百万円を減少した。

次に負債面に於ては発行銀行券は上旬四、二三七百万円、中旬四、五六五百万円を収縮したが、下旬一一、四二四百万円を膨脹し結局月中二、六二二百万円の増発となつた。政府預金は当座預金一五、五三三百万円、内地指定預金六、六〇二百万円、援助資金預金一三、〇二九百万円、其他預金一五九百万円を夫々減少した結果三五、三二三百万円の激減を示すに至つた。而して当座預金に於ては一般会計が政府出資の増加、地方配付税の支払進捗により、又食糧管理特別会計が麦の超過供出と早場米供出に伴う支出増加により夫々受超額が少額に止まつた上、貿易会計の支払超過五、八一五百万円の外食糧証券の市中償還が七、八〇五百万円に上つた為め民間関係に於て八、一〇〇百万円を減少し、又本行関係に於ては前述の預金部の食糧証券買入超過七、九七〇百万円及び援助資金預金の食糧証券

買入二四、八八〇百万円等を主因として二七、二二九百万円を減少したが、之に対し指定預金の引揚により六、六〇〇百万円、援助資金預金との組替により一三、〇二九百万円を増加した。この援助資金預金の動きは第三回分として当座預金より一七、六二〇百万円を繰入れたのに対し国有鉄道及び電気通信事業会計への投融資々金として夫々一、二九八百万円、四、三一二百万円、始めての対民間融資としての日本窒素肥料への貸付資金として一七〇百万円、食糧証券買入資金として二四、八八〇百万円が当座預金に繰戻された結果である。

かくて日本銀行主要勘定を通じて見た一般市中の金融情勢は財政資金の引揚が一段落したが、復興金融債券の償還は大部分日本銀行所有分に対するものであつた為め直接市中を潤さず、又政府指定預金の引揚をみた為め依然窮屈にて、日本銀行よりの借入金は著増し、又同行に対する長期国債の売却も行われた為め銀行券も若干の増発を見た。尚本月中全国銀行預金増加は指定預金を除き八三、六八二百万円とその貸出増加四四、七二五百万円の倍額近い増加を示したが、その少なからざる部分が決算期関係による粉飾であることは前述の如く市中金融が窮屈であることによつても明かである。

主要勘定移動状況

（単位　百万円）

資産	増減	備考			
割引手形	(+) 二、〇四九	十一大銀行	(+) 一、八三一		
		其他	(+) 二一八		
貸付金	(+) 八、四九五	特殊銀行	(+) 一、〇六六		
		十一大銀行	(+) 八、八三五		
		其他	(+) 五七二		
		農林中央金庫	(−) 一、九二〇		
		其他	(−) 五八		
政府貸付金	(−) 一、〇〇〇				
国債	(−) 二七、一一八	長期国債	(+) 三、七八六	閉鎖機関よりの代物弁済	六二七
				農林中央金庫より買入超	一、六〇五
				市中銀行より買入超	一、一八〇
				生命保険会社より買入超	二四八
				無尽会社信用組合より買入	一二二
				其他一般市中より買入超	四
		食糧証券	(−) 三〇、九〇四	引受	九、〇〇〇
				償還超	一、一九五
				預金部へ売却	七、九七〇
				米国対日援助見返資金会計へ売却	二五、〇〇〇
				復興金融金庫へ売却	二、六七六
				閉鎖機関等へ売却超	二、二三八
				市中銀行等へ売却超	八二五
債券	(−) 八、八五四	復興金融債券	(−) 八、八五四	償還	六、七一三
				農林中央金庫へ売却超	一、八三三
				国民金融公庫へ売却超	二〇〇
				市中銀行等へ売却超	一〇八

	増減	備考
内国為替集中決済立替金	(+) 二、四六九	
代理店勘定	(+) 一、三一三	
其他	(−) 六、二七五	預ケ金 (−) 六、六〇〇（十一大銀行 (−) 三、三〇〇、特殊銀行 (−) 九〇〇、其他銀行 (−) 二、三〇〇、其他 (−) 一〇〇） 其他 (+) 三二五
計	(−) 二八、九二一	

負債	増減	備考
発行銀行券	(+) 二、六二二	上旬 (−) 四、二三七 中旬 (−) 四、五六五 下旬 (+) 一一、四二四
金融機関預金	(+) 五七九	銀行関係 (+) 四〇六 金庫 (+) 一七五 其他 (−) 二
政府預金	(−) 三五、三二三	当座預金 (−) 一五、五三三（本行係 (−) 二七、二二九、民間関係 (−) 八、一〇〇、援助資金預金との組替 (+) 一三、〇二九、指定預金との組替 (+) 六、六〇〇、其他預金との組替 (+) 一六七） 内地指定預金 (−) 六、六〇二 援助資金預金 (−) 一三、〇二九（繰入 一七、六二〇、運用有利息付 一一、国鉄へ貸付 一、二九八、電気通信公債引受 四、三一二、食糧証券買入 二四、八八〇、日本窒素肥料へ貸付 一七〇） 其他預金 (−) 一五九
其他預金	(+) 二四八	
内国為替集中決済預り金	(+) 一、四三九	
其他	(+) 一、五一四	
計	(−) 二八、九二一	